

令和4年度事業計画書

政府による新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）関連の資金支援策や介護報酬の改定などの影響により、2021年の介護事業者の倒産件数は、前年と比べ約3割減の81件となりました。（東京商工リサーチ）一方で新型コロナ関連の倒産は11件と急増しています。これは新型コロナの拡大による利用控えにより、在宅サービスの収入減少が大きく影響していることによるものだと考えられます。

介護職員が濃厚接触者となれば、自宅待機となり現場の負担が大きくなります。またクラスターが発生した際には事業が閉鎖となり、事業所だけでなくご利用者やご家族の生活に大きく影響がでることが予想されます。地域の福祉の拠点として、法人内だけでなく、サービスを利用して頂いている地域の方々の生活を守るためにも、感染対策に一層取り組み、安心安全な法人運営を目指します。

令和3年度は利用者数が伸び悩み、想定よりも大幅な赤字となりました。理由として、上記の新型コロナの影響だけでなく、高額介護サービス費の負担限度額の変更による自己負担額の増額や、重度化による利用者の退所者数の増加、利用者の減少があげられます。これにより特養の申し込み者数やショートステイ・デイサービスの利用者数に大きく影響がでています。法人全体での様々な活動や機能訓練の充実、地域との交流等、ご利用者に大山やすらぎの里が良いと思ってもらえるような「選ばれる法人」となれるよう取り組みを行い、利用者の獲得につなげます。

人材確保において、引き続き企業説明会の中止や学校訪問ができない中、更なる人材不足になることが予想されます。経験豊富な人材から未経験者まで求職者にあった新人研修を実施することで人材育成・職場定着に繋がります。

当法人でも新型コロナの陽性者がでたことから、BCP（業務継続計画）策定委員会を立ち上げ、感染症が施設内で発生した際にも迅速に行動できるよう、BCP（業務継続計画）の策定に取り組みます。

1. 重点事項

1) 介護保険法改正による、介護報酬改定に対応します（10月）

2) 処遇改善補助金の実施

令和4年度より新しい処遇改善が始まります（2月から支給済み）
制度改正に従って対応します

3) 労働環境の向上

- ① ICTを活用した介護サービス
- ② 介護ロボット導入の継続
- ③ 職場環境の改善（修繕）

2. 設備整備等

1) 軽費老人ホーム福原荘 事業譲渡を受ける（認可を受けた場合）

土地：47,500,000 円

建物：10,450,000 円

器具備品：1,344,000 円

消耗物品：1,650,000 円 計 60,944,000 円

2) 眠りスキャン44台のレンタル契約

月額レンタル料（税抜）

1年目：124,300 円 年間…1,491,600 円

2年目：74,800 円 年間…897,600 円

3年目：52,800 円 年間…633,600 円

4年目：39,600 円 年間…475,200 円

5年目：35,200 円 年間…422,400 円

総額…3,920,400 円

※購入した場合

1台あたり 98,000 円 総額 4,312,000 円

3) 介護記録ソフト・ナースコール・眠りスキャンの連携

金額未定

3. 修繕

1) ユニット浴室・脱衣室改修工事

金額 3,452,680 円（税込）

すみれ・ふきのとうユニットを実施予定

4. 事業内容

大山やすらぎの里

特別養護老人ホーム 定員 57名

ショートステイ 定員 9名

デイサービス 定員 45名

居宅介護支援事業

地域支援事業 大山町受託事業、自主事業

大山やすらぎの里めぐみ館

地域密着型特別養護老人ホーム 定員15名

（サテライト型）

福原荘（名称変更予定）…6月頃より

軽費老人ホームA型 定員 50名

5. 地域貢献について

- 1) 大山やすらぎの里めぐみ館の運営
- 2) 各地区公民館への出前出張講座
- 3) 現在ある運動器具の活用（地域開放）

6. 福利厚生への取り組み

- 1) 10年勤続者 対象者6名
- 2) 適正な有休消化

7. 職員の資質の向上及び処遇改善について

介護サービスの質の向上と職員の処遇改善を行う。

- 1) 施設外研修受講の推進
- 2) 専門職としての知識、技術向上を図るため資格取得の奨励
- 3) 受講したい講習と受講させたい講習のマッチングを行い「やる気」の向上を図る。
- 4) 研修計画を樹立し職員が万遍なく受講できるような配慮
- 5) 施設内研修の充実（月1回全体研修会開催）
- 6) 福祉専門学校履修援助 1名予定（介護福祉士資格取得）
- 7) 重点的な研修
 - ①ユニットリーダー研修
 - ②鳥取県認知症実践者研修
 - ③ユニットケア全国実践者セミナー参加
 - ④老施協研究大会参加（県・中国）
 - ⑤認知症介護基礎研修
- 8) 介護ロボットの導入
- 9) ICTの導入による、記録の簡素化と情報共有
- 10) 適正な評価を実施し、それに対応した処遇改善

8. ボランティア活動の受入

社会資源の活用として、ボランティアを積極的に受け入れる。（新型コロナウイルスの感染状況による）

9. 経営の安定化を図る

- 1) 入所者数（短期を含む）：利用率95%以上
- 2) デイサービス：1日当たり実利用者35名以上
中重度加算の再算定へ中重度利用者の増
- 3) 居宅介護支援：計画数の増加（介護予防含む）
30件/人 居宅介護支援計画
10件/人 介護予防居宅介護支援計画

10. 地域住民の健康増進及び大山町まちづくりへの協力

大山町受託事業、自主事業（健康クラブ）を通じて、利用者の増加を図る。

- 1) 「ふれあいの郷かあらやま」・地域（末吉・鉦戸、佐摩・中高・平木、坊領）の公民館等への出前教室
- 2) 交流センターにおいて近隣住民の健康体操の実施

11. 各種委員会について

- 1) 運営会議
- 2) ユニットリーダー会議
- 3) ユニット会議・デイサービス会議
- 4) 行事实行委員会
- 5) 研修委員会
- 6) 安全衛生委員会
- 7) 広報委員会
- 8) 苦情検討委員会
- 9) 入所選考委員会

12. 地域、ボランティア、交流について

- 1) 家族会の活動支援
- 2) 夏祭り、文化祭等を開催し地域との交流を図る。
- 3) ボランティア受入の充実
- 4) 大山西小学校、大山小学校及、大山きゃらぼく保育園、大山保育所との交流

13. 社会福祉法人の情報公開と自己評価について

- 1) 経営情報の公開を行う
- 2) 自己評価を行う

14. その他

- 1) 広報紙「やすらぎサルビア便」の発行（毎月）
- 2) 広報紙「めぐみ館通信」の発行（隔月）
- 3) ホームページの充実（<https://keiaikai-daisen.com/>）
- 4) Facebook の充実

令和4年度目標

【さざんか・きゃらぼく】

◆運営目標

ご利用者、職員共に安心、安全、健康に自分らしく生活できる環境作りをする。

◆重点目標

1. ご利用者に寄り添い、マナーと節度ある言動に配慮して支援する。
2. コミュニケーションを取り、笑顔を引き出せるケアを行う。
3. 他職種との連携を図り、利用者、家族の意向に沿ったケアを行う。

【すみれ・ふきのとう】

◆運営目標

ご利用者が自分らしく安心して過ごせる環境を作り
ケアの質の向上

◆重点目標

1. ご利用者、職員ともに楽しく過ごせるよう、レクリエーションを充実させる。
2. ご利用者の意見を尊重し、寄り添う。
3. ご利用者・家族様との信頼関係を築く。
4. 報連相の徹底。
5. 他職種との連携を図り、情報を共有する。

【しらかば・もみじ】

◆運営目標

ご利用者一人一人に合った生活スタイルを尊重しながら寄り添ったケアを目指す

◆重点目標

1. 丁寧な言葉遣いを心掛け、明るい笑顔で接する。
2. ご利用者の要望を職員間で共有し実現できるように取り組む。
3. 残存機能に合わせた日常生活の支援を行っていく。

【ユニット医務】

◆運営目標

感染予防対策を継続し、ご利用者様の安心安全な日常生活を維持してゆく

◆重点目標

1. スタンダードプリコーションの徹底を行う。
2. ご利用者に対する細やかな健康管理を行う。
3. 常に自己研鑽を行い、多職種連携の向上に努めていく。

【ユニットの相談業務】

◆運営目標

ご利用者に満足していただけるサービスの提供を他職種と協同し実現する。

◆重点目標

1. 入所申込者の拡大
2. スムーズな入所対応（5日間以内を目指します）
3. ショートステイ利用者の受け入れ拡大（97%目標達成維持します）
4. 介護保険法改正に伴い、スムーズな対応を目指します。

【栄養管理】

◆運営目標

安全で楽しみのある食事提供

◆重点目標

1. 厨房職員、介護職員と情報共有。
2. 食事観察により摂食、嚥下状態を把握し安全な食事提供に努める。
3. 季節感のある食事やユニットでの食行事のフォロー、やすらぎ喫茶を定期的開催する。

【デイサービス】

◆運営目標

ご利用者が喜びを感じながら、意欲をもち、安心できる在宅生活が送れる様支援します。

◆重点目標

地域に根差した
共に楽しむ
迅速・丁寧
信用・信頼
笑顔になれる

No.1

【ケアプランセンター】

◆運営目標

- ・法人理念に沿い、必要、安心、信頼される事業所を目指す。
- ・専門性を極め、地域や法人の発展に努める。

◆重点目標

- ・介護保険サービス、保険外サービス知識力を高め、活用する。
- ・事後予測、振り返りを常に考える。
- ・困難事例を積極的に対応する。

【大山やすらぎの里めぐみ館】

◆運営目標

1. ご利用者が自分らしく暮らせて、職員が働きやすい環境を整える。
2. 施設運営に参加する。

◆重点目標

1. パーソンセンタードケアの実践

- ①尊厳・自尊心を傷つけない様、ご利用者一人ひとりに合わせた援助・支援を行う。
- ②ご利用者のできることに、持っている力に目を向け、ご利用者の意思、その人らしく過ごせる生活支援を実践する。
- ③ご利用者の弱い部分を支え、その人らしさを活かせる生活を提供する。

2. 経費削減を目指す。

- ①エアコン、電灯など細めなスイッチオン・オフを適正に行い備品を丁寧に扱う。
- ②ご利用者に気持ちよく過ごして頂くことを前提として、オムツやリネン等の効率的な使用を行い、定期的な見直しを実践する。

3. 職員としての環境を整える。

- ①挨拶、丁寧な対応と思いやりのある言葉かけを行う。
- ②福祉用具を活用し、職員の腰部負担軽減、動作時の身体的負担防止及び改善をする。
- ③毎月チーム目標を設定し、職員全員で達成できることを目指し、毎月の達成状況を把握する。

【健康クラブ・元気アップ】

◆運営目標

地域の方に、「健康」や「体力づくり」に役立ててもらえるような教室を目指します。

◆重点目標

1. 利用者様のニーズに合わせた運動指導を行います。
2. 利用者様一人一人の要望を大切にします。
3. 利用者様が安心して利用できるよう、新型コロナウイルス感染症対策を徹底します。

【機能訓練室】

◆運営目標

ご利用者一人一人が「その人らしく」あるために必要な働きかけを行います。

◆重点目標

1. 介護と協力し適切なケアをすることで、機能の改善を目指します。
2. 知識、技術の向上等、自己研鑽に努めます。